

今月の学習で、重要な文章の読解方法について一通り学習をすませたことになります。

今までに学習した内容は、しっかり身につけているでしょうか。夏休みを利用して、今まで学習した内容をもう一度しっかり復習しておきましょう。

今月の学習内容です。

第37回・第38回では、第23回から第26回に続いて物語文を学習することで、「因果関係を多角的に類推していく」ことについて学習します。

また、語句単元では「ことわざ」「慣用句」を学習し、言葉の知識を身につけます。文章読解や記述問題にも役立つ知識です。しっかりとおぼえておきましょう。

◆第37回 物語 複雑な心情／ことわざ

今回から物語の読解について学習していきます。第25回から第28回で学習した内容から一步踏み込んで、「複雑な心情」の読み取り方について学習します。「心情（気持ち）」とは常に一つだけというわけではなく、これまでの話の流れや場面の展開、人間関係などに応じて、登場人物が多くの心情を抱くことがあります。物語を読んで、登場人物の複雑な心情を読み取れるようになることが目標です。

語句では「ことわざ」を学習します。ことわざには「教訓やいましめ、生活の知恵」などがふくまれた表現です。こちらも慣用句と同様に多くのことわざがあります。使い方と意味をしっかりと覚えておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題1～2、★

「読む」「書く」ツール・・・①～②

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～④

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十七回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～6 ※動画内で解説しています。

◆第38回 物語 多角的に見た性格／慣用句

今回は多角的に見た性格について学習します。登場人物の性格は場面によって、あるいは誰から見たものなのかによって変わることがあります、登場人物の性格を様々な見方をしてとらえることが目標です。

また、語句では「慣用句」を学習します。入試でもよく出題されるものですので、ことばの形や意味、使い方をしっかりと覚えていきましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・★（心情の変化）、★（サチについて）

「読む」「書く」ツール・・・¹～³

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²（文章題）・・・1～6

「読む」「書く」ツール・・・¹～³

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十八回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション シナジー

文章²・・・1～3 ※動画内で解説しています。

夏真っ盛り！良い天気の日はココロも前向きになってきますね。夏休みはいったんカリキュラムがストップするので、復習に取り組めます。夏休み前には、自分が苦手な単元を洗い出して、しっかりと復習に取り組めるように準備をしておきましょう。さて、今月学習する第36回～第38回は割合です。

「割合」では、実は問題文の中に、やるべき計算について、きちんと書かれています。正しく文章を読むことが大切なので、問題文を「読み飛ばす」ことなく、ていねいに取り組むよう心がけてください。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第37回 割合 ～割合と線分図②～

第36回で学んだ「もとにする量＝比べる量÷割合」を中心に学習します。そして、そのような文章題を「相当算」といいます。相当算では、「線分図」を正しくかくことを心がけてください。正しくかくことができれば、あとは正答までは一直線です。文章を正しく読んで、対応関係をおさえていきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①② 知識技術 1～3

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～3

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1, 2, 3

栄冠への道・・・学び直し③ 1, 2, 3

ひとりで問題と向きあうための準備 1～4

◆第38回 割合 ～売買と割合～

第38回では、売買の関係について学びました。5年生の皆さんにとっては、商売をすることはないので、具体的なイメージがとれないかもしれません。ポイントは、基準が変わることをおさえていくことです。「原価の～」「定価の～」など表現によって基準となるものが変わりますね。正しく理解しましょう。また「～割増し」「～割引き」という表現もよく考えると、基準となる「1」に足したり、引いたりすることだと分かってきますね。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①② 知識技術 1～5

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・～

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法, ,

栄冠への道・・・学び直し③, ,

ひとりで問題と向きあうための準備～

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第37回 割合 割合と線分図② ～割合と線分図②～

今回のテーマは、「もとにする量」を「比べる量÷割合」で求めて明らかにしていくことです。その思考の助けとなる線分図は必ずかけるようにしておきましょう。ポイントは、線分図の上には実数（単位がついた数）を、下には割合（○や□をつけるのを忘れずに！）をかき、その対応を考えることです。線分図が正しくかけた段階で、相当算は8割方できたようなものです。（あとの2割は、計算間違いや答え方の間違い）

第36回でも確認しましたが、「何を基準（＝もと）にしての割合なのか」を強く意識して問題文を読んでいくように心がけましょう。

◆第38回 割合 売買と割合

今回の単元は、小学生のみなさんにとっては理解が進みにくい単元です。理由としては、「用語が難しい」ことが挙げられます。「原価」「定価」「売値」「利益」「値引額」・・・など、普段使わないような言葉が多いですね。もし問題を解いていてわからなくなったら、まず、「言葉の意味は大丈夫かな？」というところからスタートしていきましょう。

今回も、「何を基準（＝もと）にしているのか（原価の…、定価の…、など）」を強く意識して問題文を読んでいくように心がけましょう。

このように考えていくと、割合を得意にするためには、問題文の読み取りが非常に大切であることがよくわかりますね。

暑い夏がやってきました。外の気温とエアコンで冷やした部屋の温度差が大きくなる季節です。体調をくずさないように注意しましょう。

7月、理科では「ばねののびちぢみ」「てこのつり合い」について学びます。

それぞれ、どのような法則にもとづいて数量が変化するかを理解することが大切です。また、条件が変わった時にどのような変化が起こるのかを、計算で求められます。計算でまちがえたときに、どのようなミスをしたのか確認できるよう、ノートに計算式も書いておきましょう。

◆第28回 ばね

ばねがのびるときの、ばねののびと重さの間の関係を、表やグラフから読み取って、様々に条件が変化した時にどのように計算するのかを考えよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・「ばねの長さ」と「ばねののび」のちがいを理解しよう。
- ・ばねの長さとおもりの重さが正比例していることを理解しよう。
- ・つなぎ方を変えた時、ばねに加わる力とのびの大きさがどのように変化するのか考えてみよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・学び直し②

◆第29回 てこ

てこの原理を応用した身の周りの道具について、てこの3点がどこにあるのかを考えてみましょう。また、どのような原理に基づいて、てこや力がつり合うのかを理解し、おもりの重さや支点からのきよりを計算で求めてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・てこの3点と、てこを応用した道具にどのようなものがあるのか考えてみよう。
- ・「てこを回す働き」＝「支点からのきより」×「おもりの重さ」であることを理解しよう。
- ・「左回りの働き」＝「右回りの働き」のときにてこがつり合うことを理解しよう。
- ・向きが反対で、同じ大きさの力が働くとき、力がつり合うことを理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・学び直し②

◆第28回 日本の重化学工業

①では、鉄をつくる工業について学習します。鉄は「産業のコメ」とよばれるほど、身の回りに鉄製品があふれています。③では「鉄ができるまで」の図がのっています。鉄の原料は大事です。輸入先とともにしっかりと覚えましょう。また④の地図で、おもな製鉄所のある都市を確認しておきましょう。

②では、自動車工業について学習します。いまや自動車は日本の重要な工業製品となっています。②では自動車ができるまでのようすが写真でしめされています。流れ作業、ジャストインタイム方式、関連工場などのことばをしっかりと覚えましょう。オプション「探求」には、自動車産業の基礎を築いたヘンリー・フォードの話が書かれています。興味があれば読んでみましょう。④の地図にのっている都市で自動車は生産されています。太田(群馬県)にはスバルの、豊田(愛知県)にはトヨタの、広島にはマツダの工場がそれぞれあります。

③では、石油化学工業について学習します。石油からプラスチックなどをつくる工業のことです。プラスチックは私たちの生活にとって欠かせない便利なものですが、別の側面もあるようです。オプション「シナジー」にはレジ袋の有料化の話が書かれています。読んでみましょう。石油化学コンビナートのしくみという図がテキストにのっていますね。タンカー、ナフサということばを覚えておきましょう。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞地理資料集 P114～116「11 各工業の生産過程と立地」参照

◆第29回 工業生産をめぐる問題点

①では、軽工業から重化学工業へと、工業の中心が移り変わる過程について学習します。コラムを確認し、工業の発展とともに、高度経済成長期や石油危機を経て、日本のエネルギー源が変わったことを理解しましょう。とくに 2011 年の東日本大震災があたえた影響は大でした。

②では、いわゆる工業地帯、工業地域について学習します。テキストにのっている各工業地帯、工業地域の工業生産額割合の円グラフはしっかりと確認し、どれがどの工業地帯・工業地域のものなのかがわかるようにしておきましょう。コラムで各工業の立地条件を確認しておきましょう。

③では、これからの工業について学習します。ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)などが注目されていますね。自動車業界では電気自動車が中心になると予想されています。

【これもおさえておこう！】

☞ オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞ 地理資料集 P118・119「12 工業のさかんな地域」参照